



令和4年3月18日
北九州市環境局
再生可能エネルギー導入推進課

報道機関 各位

若松消防署で再エネ 100%北九州モデルの実証を開始します！ ～EV 及び LED の第三者所有方式による導入について～

本市は、再生可能エネルギーの確保・普及に向けて、太陽光パネルや蓄電池、エアコン、LED などの省エネ機器を「第三者所有方式」で導入する「再エネ100%北九州モデル」を構築し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を進めています。

今回、「再エネ100%北九州モデル」のステップ2、3に該当するEV（蓄電池）及びLEDを導入しましたので、下記のとおり現地説明会を開催いたします。

※再エネ100%北九州モデルについては別紙参照

記

現地説明会について

- (1) 日 時：令和4年3月24日（木）14：00～15：00
- (2) 場 所：若松消防署 本署（北九州市若松区桜町1-28）

※本実証におけるコスト削減効果について、現地にて実機を用いながらご説明いたします。

(参考)コスト削減効果について

(1)導入コスト削減効果

EV を公用車としての利用に加え、充放電器を用いて蓄電池としても利用することによる導入コスト削減効果を検証します。

(2)更新及び長寿命化によるコスト削減効果

IoT 機器に接続された LED により点灯時間を最適化することで、長寿命化（通常 4.6 年 ⇒7 年）を図ります。更新及び長寿命化によるコスト削減効果を検証します。

【問合せ先】

（実証に関すること） 北九州市環境局再生可能エネルギー導入推進課
電話：093-582-2238 担当：岡島、塩田

（消防施設及び運用に関すること） 北九州市消防局総務課
電話：093-582-3802 担当：森、大場

環境と経済の両立に向けた「再エネ100%北九州モデル」

「再エネ100%北九州モデル」の導入目的

- 太陽光パネルや蓄電池、エアコンなどの省エネ機器を電力会社が設置する、いわゆる「第三者所有方式」で、再エネの導入と省エネ対策を図るもの。
- また、IoTやAIを活用したエネルギー管理システムを導入し、最適な運用や維持管理を行うことで、再エネ電力価格の低減を実現して、機器の長寿命化を図り、サーキュラーエコノミーにも貢献するモデルである。

ステップ1【再エネ100%電力化（市内再エネの供給）】

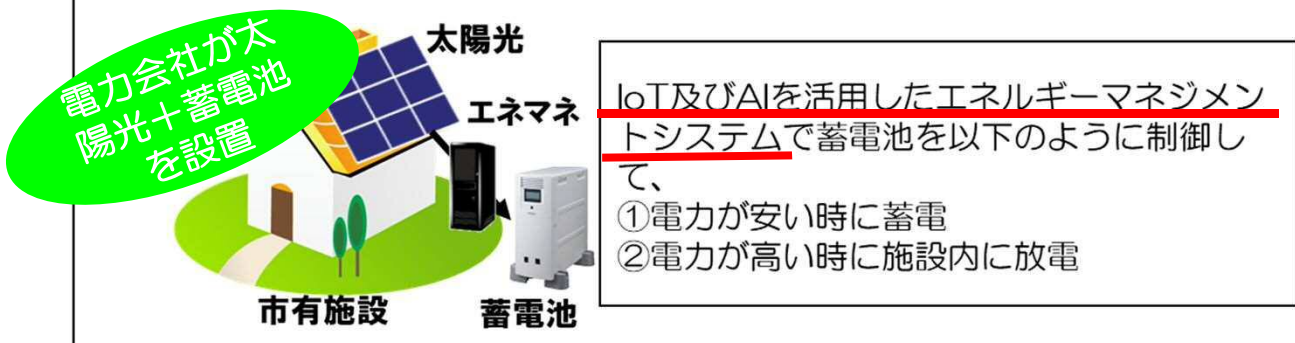
2025年度までに完了予定

北九州市は
260
施設



ステップ2【自律型エネルギー施設（太陽光パネル+蓄電池）】

市有施設で
実証予定



ステップ3【自律型エネルギー施設 PLUS（ステップ2+省エネ機器）】

給食調理室の
エアコン導入実施



「再エネ100%北九州モデル」の普及により、

- ①再エネ100%電力を安価にかつ安定的に導入できる体制を構築し、
- ②再エネ100%電力を必要とする中小企業の競争力を強化し、
- ③「環境と経済の好循環」の実現を目指す！